

資料 2.6 億円の積算根拠について

令和3年度に作成した「宝塚市立温泉利用施設保全計画」内の数値を根拠としました。保全計画では、各設備や躯体等の劣化度を、「A」が健全(軽度)、「B」が進行(中度)、「C」が著しく進行(重度)、「D」が漏水や故障中(事後)に判定しています。「D」は既に修繕を終えていることから、次に危険度が高い判定の「C」の修繕内容で、令和13年(築30年目)までにかかる修繕額の累積を時点修正し、それを本予算の積算根拠としています。主な内容としては、空調設備の総入れ替え、屋上の防水、外壁のコーキング、高圧受電盤といった電気関係の設備などです。

(千円)

建築部門	
屋上アスファルト防水	556
露出部アスファルト防水	179
塗膜防水	5,390
トップライト	563
外壁打ち継ぎコーキング	704
外壁建具廻りコーキング	1,690
外部・内部アルミニウム建具	1,295
露筋部補修工事	74
建築部門合計	10,451

(千円)

電気部門	
高圧受電盤	3,942
低圧電灯盤 100kVA	3,303
低圧動力盤 200kVA ①	6,161
低圧動力盤 200kVA ②	6,161
中央監視設備	16,419
幹線設備(分電・動力盤)	13,403
ガスジェネレーション	708
電気部門合計	50,097

(千円)

機械部門	
金泉吸込配管	774
金泉排水配管	2,120
機械部門合計	2,894

これらの金額に諸経費(×1.3)、算出当初からの物価高騰(×1.3)、消費税(10%)をして、累計額を 117,938 千円(小数点の観点から表①より-1 千円)としました。これに、個別で見積をした空調設備修繕費用 103,038 千円(EHP 仕様に変更)を足して、リニューアル修繕の予算要求額を設定しました。

$$117,938 \text{ 千円} + 103,038 \text{ 千円} = 220,976 \text{ 千円} \div \boxed{221,000 \text{ 千円}}$$

これに、3,900 千円/年というランニング修繕を計上しました。(39,000 千円/10 年)

よって 10 年間で $\boxed{260,000 \text{ 千円}}$ となります。